



ペア学習やグループ学習をより効果的で、児童生徒の「話す・聞く」等の言語能力を高める時間にしていきませんか。「主体的・対話的で深い学び」の具現に向け、ペア学習やグループ学習の時間を見直してみましょう！

どのような意図で「ペア学習」や「グループ学習」を取り入れていますか？

自分の考えがもてなかったり、話すことが苦手だったりする子供に自信をもたせるためです。

友達の意見をより深く理解する時間にし、全体での話合いに生かしてほしいからです。



でも…
子供の学習の様子を見ると、本当に自信をもっているのかなあ？
この後の全体での話合いに生かしているのかなあ？

ペアやグループで話し合う時、このような子供の姿はありませんか？

ノートに書いた考えをそのまま読んで伝えている学習の様子



<自分の考えをノートに書く>



(ノートを読みながら)
私の考えは、…です。

<ノートに書いた文章を読んで伝える>

何について話しているのかなあ？



どうして、聞く側の子供に「？」がついてしまうのでしょうか。



話す側の課題

- ・聞き手に対する相手意識が薄いため、聞き手の反応を感じて話していない。
- ・ノートを読むことに集中して、聞き手に伝えようとする意識が低い。

聞く側の課題

- ・話している内容が伝わりにくいため、自分の考えと比べて聞くことができていない。
- ・何のために聞くのか意識していないため、話し合うことに意味を見いだしていない。

ペアやグループを「チーム」として話し合う意識をもたせていきましょう

例えば、話合いに入る前に、右のような指導をし、目的を共有している「チーム」で話し合うような意識を高めていくことが重要です。



- ペア・グループ学習に入る際は、その意図やねらいを子供に伝え、意識付けを図る。
 - 話す側には、ノートを閉じて自分の言葉で思考しながら説明的に話すようにする。
 - 聞く側には、自分の考えと同じか違うかを比較すること、付け足せることはないかを考えて聞くようにし、話す際は、前の人の話を踏まえて相手に伝えるようにする。
- ※実態に応じて、先に話合いをし、自分の考えを広げてから、ノートに書くという順番も考えましょう。

教師は状況を見守り、時には話合いの一員として参加し、子供の思考を促しましょう。

